

校長室だより No 8

バーチャル引き渡し訓練

2024年9月3日 柏市立富勢小学校 校長 梅津健志

昨日は、富勢地区4校でのバーチャル引き渡し訓練にご協力をいただき、ありがとうございました。今回は実際に首都直下型地震や南海トラフ巨大地震等が発生した場合、公共交通機関は不通となり、道路も大渋滞が予想され、徒歩による移動のみとなる可能性があり、その想定で学校での引き渡し状況を把握するための訓練として実施しました。

概要は次の通りでした。

訓練開始 10:00、最初の報告は 10:02 分、11 時までに報告があった件数は 197 件、11 時から 12 時の報告が 73 件（合計 270 件）、12 時から 13 時の報告が 50 件（合計 320 件）、13 時から 15 時の報告が 37 件（合計 357 件）でした。この時点での報告は 76.9% でした。ここまでで連絡が無かった保護者には連絡をする予定でしたが、107 件への電話連絡は実際の場合は無理であることと判断し、その後の経過を見ました。

15 時時点で、学校での引き渡しが最も遅くなるお子さんは 23 時で、16 名の保護者のお子さんたち約 35 名程度学校でお預かりしているという状況でした。（小学校へ移動した中学生を含む）ただし、41 件の方は学校到着予定時刻が未記載でした。その後、教頭が退勤した 19 時までの報告が 36 件（合計 392 件）で、今朝の最終確認では、朝の 7 時過ぎに報告をいただいた方までで 406 件の報告をいただき、報告回収率は 87.5% という結果でした。実際の場合に近い数字ではないかと想定します。

私は 3.11 を柏第一小の教頭として対応しました。当日は柏駅の帰宅難民 500 人超の方々を学校に泊め、保護者のお迎えができなかった 10 名程度の児童をルームに宿泊させた経験があります。当時を振り返ると、刻一刻と変化する情報に対して、学校として必要な人数の職員に残ってもらったり、応援にかけつける市役所職員の割り振りを行ったり、避難者への対応、報道機関への対応、警察・消防からの行方不明者問い合わせ対応、と一睡もできず、東北沿岸の津波被害すらも夜中に把握するような状況でした。

首都直下型地震は必ず発生することを想定して、今回の訓練結果を4校で共有して、子どもたちの安全を確保できる引き渡し体制を整えていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。